

FAIRLIGHT | QUANTUM

Fully featured, mid-size Audio Post Console

Control Surface

QUANTUMはとて面白い、ミキシング環境をアプリケーション側からの要求により提供します。最大192のAudioトラックで、HD画像を含んだ大きなAudio/Videoプロジェクトに適しています。コンソールは12および24フェーダー構成で利用でき、大きくて簡単に届くタッチスクリーンを備えています。コンパクトなコンソールフレームに24フェーダーは幅1.7mサイズ、12フェーダーは幅1.2mのコンパクトなコンソールフレームに入ります。

どちらの構成もFairlightのユニークなPicture Key Technologyがはめこまれたセンターセクションを含みます。43のPicture Keyはラベルやファンクションを即座に変更でき、コントロールサーフェスのセクションを再利用できます。大きなディスプレイ、28のボタンと6つのロータリーエンコーダーに囲われ、Picture Keyを補い、トラックセレクタへのアクセスやEQ、Dynamicsのようなプロセッシングファンクションを提供します。

センターセクションはまた、メインコントロールルームやスタジオモニタリング、トークバック、パンニングのためのJoystick、ユーザー定義可能なキーを特徴とし、マウスのためのスペースもあります。

結果、コンパクトで直感的、人間工学的なワークスペースで、無制限の機能的な範囲をもたらします。

TFDタッチスクリーンはセンターセクションパネルディスプレイ上にはエディティングタイムラインをレイアウトしました。それは、内蔵Videoトラックから出力のフルスクリーンビューのような他のファンクションに変更もできます。チャンネルセレクションは12のフェーダーストリップとともに、100mmムービングフェーダーやセレクション、オートメーション、ソロ&ミュートコントロール等をそれぞれ含みます。

各フェーダーストリップのトップには二つのタッチセンシティブロータリーコントロールがあります。通常モードでは各ストリップ（例えば12セットのPanやTrim）と関連したパラメータにアドレスします。セレクトチャンネルモードではそれらのファンクションに変わり、直ちにひとつのチャンネルのコントロールすべてにアクセスすることを可能にします。

ロータリーコントロールのファンクション、モードや値は、高解像度カラーディスプレイに表示されます。ディスプレイはメータリングや関連したグラフ（例えばEQカーブ）も表示します。

全体のミキサーの概要は、プロジェクトに有効なすべてのチャンネルに関するキーとなる情報を示し、チャンネルセレクションのトップに表示されます。

Mixing and Processing

QUANTUMは72のバスエレメントに230のチャンネルミックスを供給し、最大192のトラックをサポート可能で大きなプロジェクトを効果的に扱うことができます。バスエレメントは任意のサイズのカスタムフォーマットバスに加えて、Monoから7.1まで標準バスに組み合わせることができます。

すべてのチャンネルとバスはコンプレッサー、ゲート/エキスパンダーおよびリミッターを加えた6バンドのEQを完全に装備しています。

追加のプロセッシングはVSTプラグインを用いて利用でき、チャンネル毎に最大6つのプラグをサポートします。ミキシングとプロセッシングは、様々なタッチモード、直接的なオートメーションステータスインジケータ、カーブローリングとオフラインエディティングで、包括的に自動化されます。

Monitoring

デュアルバスモニタリングシステムは、追加のハードウェアが不要で、すべてのバスと最大16のユーザー定義の外部ソース（7.1まで各々）からソース選択を可能にします。

コントロールルームとスタジオセクションはそれぞれ9つのスピーカースト（7.1まで各々）にアクセスします。

On-Board Video

Audioトラックと並んで、QUANTUMはSDもしくはHDの2つのVideoトラックをサポートします。すべての一般的なフォーマットがサポートされています。

System Integration

I/Oオプションの選択は、QUANTUMがあなたのスタジオのインフラにスムーズに統合することを可能にします。ITサイドで、QUANTUMは最も業界標準のサーバーとアセットマネージメントシステムに結びつきます。今日の複雑なワークフローを効率的にサポートするために、XYNERGIは広範囲なメディアとEDLファイルフォーマットを読み書きします。

